

令和 3 年度 学生部
自己点検・評価報告書

令和 4 年 3 月
富山短期大学 学生部

目次

【基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果】

[テーマ 基準 A 建学の精神]〈区分 2〉

【基準Ⅱ 教育課程と学生支援】

[テーマ A 教育課程]〈区分 9〉

[テーマ B 学生支援]〈区分 4、5、6、7、8、特記事項〉

【根拠資料一覧】

- No. 1 令和 3 年度『学生のしおり』
- No. 2 学生のボランティア活動実績
- No. 3 2021 年度ボランティア活動報告集
- No. 4 報告書 R2, R3 (就職支援センター常備ファイルを参照)
- No. 5 進路資料関係一覧
- No. 6 就職支援委員会 R3 (就職支援センター常備ファイルを参照)
- No. 7 企業説明会 R3 (就職支援センター常備ファイルを参照)
- No. 8 2022 カレッジガイド
- No. 9 学生相談室年間利用延べ数 (R3 富山短大分)
- No. 10 学生会会則
- No. 11 彩 2022 vol. 57
- No. 12 令和 3 年度クラブ・サークル一覧
- No. 13 学長と語る会議事録
- No. 14 2022 カレッジガイド
- No. 15 令和 3 年度富山地方鉄道(呉羽キャンパス構内乗入れ)直通バス時刻表
- No. 16 あやな会だより
- No. 17 キャンパス通信 No. 103
- No. 18 トイレリニューアル写真

基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果

テーマ：A 建学の精神

区分：2 高等教育機関として地域・社会に貢献している

<現状>

教職員及び学生のボランティア活動については、平成 19 年に学務部内にボランティア支援センターを設立し、Web ボランティア手帳システムを構築した (No.1 pp91-94)。令和 2 年 4 月の事務組織再編を機に学生部ボランティア支援センターと改め、全学で積極的に推進している。令和 3 年 4 月から令和 4 年 3 月までの実績は別紙のとおりである (資料 2)。ボランティア依頼件数及び参加率は、コロナ禍以前の実績には及ばないものの回復傾向にある (依頼件数は前年比 8% 増)。学生 1 人あたりの平均参加回数 (参加率) は、1 年生で 2.1 回 (49.8%)、2 年生で 1.8 回 (15.7%) であった。

教員と学生有志で結成している「リボン from とやま」は、コロナ禍での子育て応援マルシェ、乳児院へのクリスマス訪問、南砺市の子どもの権利条約策定に向けての子ども部会の企画・運営などの活動を行い、地域・社会に貢献している (No.3 pp5-6)。また、富山県女性財団の委託を受けて教員・職員・学生の協働で生理の貧困に対する取り組みも行われた。トイレ個室への衛生用品の配置、生理に関する講演会など積極的に展開された (No.3 pp3-4)。

<課題>

令和 3 年度は、依頼にこたえて参加するボランティアから、教員と学生が地域社会を対象に自ら作り出すボランティア活動が実現した。今後このようなスタイルの活動の継続と全学への普及が課題である。

<改善計画>

地域課題解決を意識した教職学協働のボランティア活動をさらに推進する。

基準Ⅱ 教育課程と学生支援

テーマ：A 教育課程

区分：9 学生の卒業後評価への取り組みを行っている

<現状>

本学では、平成 25 年度 (平成 25 年 3 月卒生) から経営情報学科、食物栄養学科、幼児教育学科、健康福祉学科の全学科で「卒業生の事業所・企業等就職先訪問報告書」を作成している。一般企業に就職する経営情報学科は、就職支援センター長が就職先企業の人事

担当者を訪問する形で実施し、専門学科3学科は、教員が直接事業所を訪問する形式で実施し、対応がかなわない事業所等へは「卒業生アンケート」を郵送し回答を求めている(No.4)。

「卒業生の事業所・企業等就職先訪問報告書」の聴取内容は大きく分けると3本立てとなっている。柱の一つは、「卒業生の仕事への姿勢や職場での取組み状況」についての聴取である。卒業生の配属先の上司(人事担当者)に「礼儀・マナー」「チームワーク」「アクション(意欲)」「シンキング(課題発見)」の4項目について5段階で評価してもらうことにより、客観性を持たせて聴取している。二つ目の柱は、「大学で身につけてほしいスキル、資格等」についての聴取である。多く挙げられるのは「コミュニケーション力」「PC関連スキル」「SNSの使いこなし」「ビジネスマナー」等である。三つ目の柱は訪問時点での次年度の求人・職種について、企業の採用方針の聴取である。県内企業への就職率が毎年95%程度と極めて高い本学においては、就職支援センターと各社人事担当者の採用方針に関する情報の共有はミスマッチの低減への効果も期待でき、高い就職率を達成するうえでの有益な方策となっている(No.5)。

「卒業生の事業所・企業等就職先訪問報告書」は2部作成し、就職支援センターと各学科で保管している。就職支援センターの進路ガイダンスや経営情報学科の「専門演習Ⅰ及びⅡ」における指導で、各企業の採用方針や、求める人物像の指導・相談に生かしている(No.4)。

<課題>

毎年多くの時間をかけて「卒業生の事業所・企業等就職先訪問報告書」を実施・作成しているが、聴取して得られたデータや採用に関する具体的な情報等に関して、キャリア教育に生かしていく用途に限られ、単年度の指導・相談に生かす結果となることが多い。

<改善計画>

学科の就職活動の実態に合わせて、卒後評価の有効な活用を検討する。

テーマ：B 学生支援

区分：4 進路支援を行っている

<現状>

本学では、就職支援の組織として、「就職支援委員会」と就職支援センターを整備し、就職協働で活動・支援している。「就職支援委員会」は、委員長を学生部長が務め、各科就職担当教員、担任及び担当事務職員に加えて、就職支援センター職員で構成し、就職活動の節目となる時期を中心に年間5回開催している。「就職支援委員会」では、支援体制の充実を企図して、就職支援の年間スケジュールと各科就職指導計画の確認、編入学指導に関する共通理解、求人受理状況、「学内企業説明会」等の学内就活行事の企画・運営の確認、各科の就職活動の進捗状況、卒業生事業所・企業訪問で得られた新卒採用に関する情報等、進路支援の骨格と概要について討議し、共通理解を図る場となっている(資料6)。

毎年、就職試験、特に公務員を目指す学生を対象に就職支援対策の一環として、外部に委託し「就職試験教養科目対策講座」を3月末に集中講座形式で実施している。地方公務員、公立保育士、保育教諭、栄養士、栄養教諭等を目指す約60名が受講し、人文科学、社会科学、数理理解、空間把握等の講座を受講し、基礎的教養の向上に努めて、今年度は21名の公務員（公立保育士含む）の合格につながった。（No.5）

本学では、就職支援センター長が主務者となり「卒業生の事業所・企業等就職先訪問報告書」の聴取を目的に、県内約50社の人事担当者および卒業生配属先の上司を訪問している。卒業生の仕事への姿勢や職場での取組み状況、「大学で身につけてほしいスキル、資格等」、及び訪問時点での次年度の求人・職種について、企業の採用方針も含めて聴取している。これら県内企業から得られた採用方針の情報に加えて、卒業生の就職先を冊子にした「進路状況」により、前年度複数名の採用実績のある企業を中心に、学内合同企業説明会を5回にわたり開催（うち2回はオンライン）、切れ目のない就職支援につなげた。今年度開催した学内合同企業説明会の実施内容については、次年度以降の学生にも応用できる部分も多く、本学の就職支援の良い前例となった。また、編入学希望の学生に関しては、4月と7月に「編入学ガイダンス」を実施し、編入学概要等を説明し全学科で13名の合格につなげた（No.7）。

<課題>

就職活動が早期化・長期化する中で、就職活動に踏み出せない学生、昼食活動が継続しない学生等が見られた。中には対人関係やコミュニケーションに課題を抱え配慮を必要とする学生もいる。学科と就職支援センター、健康支援センター、外部支援機関とも連携しながら早期のきめ細やかな対応が求められている。

<改善計画>

就職活動に困難を抱える学生に対しては、早期に把握し、学科と就職支援センター、健康支援センター、外部支援機関と連携してきめ細やかな対応を行う。

区分：5 学生生活に課題を抱える学生への相談支援を行っている

<現状>

健康支援センターには、学生相談室を設置しており、メンタルヘルスケア、カウンセリングを行っている。また、公認心理士資格をもつカウンセラーや学校医による定期的な学生相談をとおして、学生が抱える心身面の諸問題等に関し、センター長と看護師及びサポーター教員が連携して情報共有・個別支援の体制を整えている。令和2年度から、内科医だけでなく心療内科医のサポートを開始し、活用されている（No.8）。

主立った相談支援は下記のとおり（No.9）。

①持病、身体的障害を有し、学生生活に影響のある障害学生への相談支援

入学時提出の保健調査票により相談内容や配慮希望の有無を把握。情報共有に本人同意がある場合は、担任へ詳細を伝達し、連携を取っている。4～5月に健康支援センターに

において学生と個別面談し状況聴取を実施している。

②精神的に問題を持ち、学生生活に支障が生じた学生への相談支援

入学時提出の保健調査票から把握。情報共有に本人同意がある場合は、担任へ詳細を伝達し、連携を取っている。個別面談を実施し状態を聴取、定期的に相談を勧めている。学生生活途中から顕れた問題は、担任からの連絡で相談支援が開始される場合もある。

③学力以外に特異的な学習障害や得意・不得意がある学生への相談支援

学科・担任と連携して学習態度や課題等の提出状況、出欠状況等に関する情報共有。欠席等が目立つ場合は、別途カウンセリングを勧めるなど、早期から退学防止や学生生活支援を実施している。但し、保護者との連携は家庭状況と関連するため、難航する場合も見受けられる。

④健康を守るための予防保健教育

ポスターやパンフレット等を学生ホール内や学科掲示板に掲示し啓蒙を図っている。また、今年度はコロナ禍の学生生活を安心して過ごすことを目的に、学内のトイレや学生ホール等に感染予防対策を促す掲示を行った。

<課題>

心身に課題を抱える学生が増加する中で適時適切に対応するためには、健康支援センター、サポーター、学科・担任にとどまらず就職支援センターも含めて情報共有の仕組みを整備する必要がある。学生相談室の周知・案内でより積極的な活用を促すことも必要である。また、課題を抱える学生への理解を得るための教職員の研修等も必要である。

健康支援センターは、併設大学の学生、短大学生、附属幼稚園児と短大教職員の健康管理を担当し、加えてカウンセラーや学校医の対応等を、看護師2名（内1名は非常勤）で担っている。附属幼稚園が認定こども園に移行してからは、健康管理業務が増加し、通常事務作業に加えて各種相談や連絡調整、体調不良者や怪我人への対処など、2名で処理できる業務量を超えており、新たな対策が必要である。大学の東黒牧キャンパスには健康管理センターがあり、看護師1名が常駐しているが、呉羽キャンパスの大学生への対応は、短大健康支援センターが兼務するという分掌になっている点も、業務量増加要因のひとつと考えられる。大学の健康管理センター、附属幼稚園と業務内容に関して協議・調整を行い、業務量・内容の整理・削減を進めていく必要がある。

<改善計画>

多様化する学生への適切な支援を目指して、①全教職員対象の研修会の実施で理解を深める ②学生相談室の運営体制を整備する。また、健康支援センターの業務内容を含む関係各方面との連携のあり方を検討し改善する。

区分：6 学生会、サークル、ボランティア活動の支援を行っている

<現状>

学生の自治組織として学生会がある。学生会活動は、学生会執行部14名が中心となり、

大学祭やとみたん交流会、クリスマス会等の行事を、学生部と連携して企画・運営している。また、オープンキャンパスや卒業式・入学式等の大学行事には、運営補助として協力参加している（No. 10）。大学祭は、同一学園内にある富山国際大学子ども育成学部との共同開催に向けた学生会役員同士の連絡・調整が毎年難航していたが、令和3年度は合同の大学祭を実施することができた。また、オンライン開催に着手し、コロナ禍での大学行事実施の方向性をつかむことができた（No. 11 pp7-11）。

現在、運動系・文科系併せて22のクラブ・サークルが存在し、どの団体も学生会クラブ会に所属している。全学での課外活動を保障するために設けられたトミタンアワー（毎週火曜日5限目）を活用し、活動を行っている。今年度は新たに4つのサークルが立ち上げられ、継続した活動展開が期待される（No. 12）。

年1回、学生会執行部とクラブ・サークル長を対象としたリーダー研修会を開催している。今年度も開催に向け準備中であったが、コロナ感染防止のため、活動のための事務手続きの説明会に変更した。

これ以外にも「学長と語る会」と称する意見交換会を年1回実施し、学生の声を直接聞く機会を設けている（No. 13）。

ボランティア活動等普及支援を目的に、今年度新たに「+Oneともに」助成金交付に着手した。6団体が申請し交付された助成金の活用で有意義な活動が展開された。なお、年間をとおして顕著なボランティア活動を行った学生にはボランティア賞を授与するとともに、報告集を通じて全学生への還元を図っている（No. 3）。

学生部では、学生会、クラブ・サークル活動、ボランティア活動等を全面的に支援し、事業の企画・立案から予算執行に関する助言・協力を行っている。

<課題>

コロナ禍の中での行事のあり方は今後も検討・工夫が必要であるが、より学生が参加したい大学祭とするために、学校間・学生間の相互連絡・協力体制をさらに緊密にしていくことが重要である。クラブ・サークルに関しては、活動の継続と団体の存続が課題である。

<改善計画>

引き続きコロナ禍における学生会諸活動のあり方を工夫しより満足度の高い取り組みの実現を目指す。60周年を前にして、学生会組織、刊行物等現状に合ったものへと見直しを行う。クラブ・サークル活動の継続・活性化のための支援を行う。

区分：7 自転車・車通学、公共交通アクセスなど通学の利便性を図っている

<現状>

本学では、一定の条件を満たす2年生と社会人入学生、専攻科生を対象に自家用車通学を希望する学生に駐車許可証を発行し、本学専用駐車場の使用を許可している（No. 14 pp45-46）。1年生や公共交通機関利用の学生のために、地元バス会社（富山地方鉄道）と契約を結び、主要駅間と本学構内まで乗り入れする直通バスを、登下校時に運行している。

また、地域のコミュニティーバスも構内乗り入れをしている。併設高校が生徒用として別途契約する直通6路線も利用可能なことから、学生の通学利便性は大幅に向上した。なお、学生支援課では、年間2回（春秋）契約バスの乗降者数を計測し、現状把握に努めると共に、台数の増減や出発・到着時刻の設定時の参考としている（No.15）。

<課題>

本学学生駐車場の利用に関しては、別途規則等を定め、年間3~4回にわたり駐車指導を大学・短大双方の教職員協働で実施しているが、許可証非呈示や無許可駐車など、ルールを守らない者も散見される。

更には、本学近隣を走る第三セクター鉄道（あいの風とやま鉄道）に新駅設置を要望するため、平成30年に地元議員や地域自治会・住民等と本学園関係者で新駅設置期成同盟会を結成し、設置活動を行ったが認可先送りとなっている。学生の利便性向上のためにも、新駅設置活動を継続していく必要がある。

<改善計画>

第三セクター鉄道（あいの風とやま鉄道）の願海寺新駅設置活動を継続実施する。

区分：8 卒業生、同窓会への支援を行っている

<現状>

本学には、同窓会として「あやな会」があり、事務局と学生部間で緊密に連絡を取り合っている。「あやな会」は関東と関西にもそれぞれ支部を有し、年1回総会と支部会が開催されており、本学からも学長等が参加しているが、今年度はコロナ感染症拡大のため参加はなしとなった。卒業を予定している2年生に対しては、12月に学科担任経由で同窓会との連絡委員の選出等を依頼し、入会へと至っている。

今年度は、学生部が働き本学大学祭にあやな会の紹介動画で参加してもらった。また、例年年度末に「あやな会だより」を学生部とあやな会協働で発行し、「母校は今」というテーマで、母校の現在の状況を広く会員にも報告している（No.16）。

今年度は非接触型サニタリーボックス26個を寄贈いただき、G館とF館トイレに設置、学生からは衛生的で好評である（No.17 P7）。

<課題>

引き続き大学祭への多様な方法での参加を「あやな会」事務局と協力して行い、関係強化をすることが課題である。

<改善計画>

大学祭への参加をはじめとして「あやな会」との更なる連携強化に向けて、連絡体制等の再構築を検討する。

テーマ B 学生支援 特記事項

A館の老朽化が進む中で、1階トイレのリニューアル・改修を行った（No.18）。学生目線の意見を反映しながら便器の洋式化、パウダーコーナーの設置、床材の張替えなど大規模な改修となったが、学生の満足度は高い。非接触型サニタリーボックスの導入、ポプラプロジェクトによる衛生用品配置も含めて学内アメニティーが充実した。

高校、大学と共用しているG館学生ホールについて、常時換気と黙食のステッカー貼付、施設の利用方法や利用時間に制限を設け、座席数も約半数に抑えて、新型コロナウイルス感染防に学生支援課が率先して取り組んだ。

また、新型コロナワクチン職域接種をはじめとしたワクチン接種の推奨等、現場実習を控えた専門学科を有する短大としてコロナ感染対策に努めた。

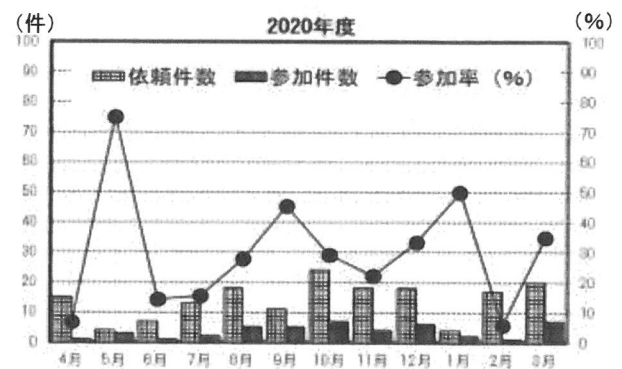
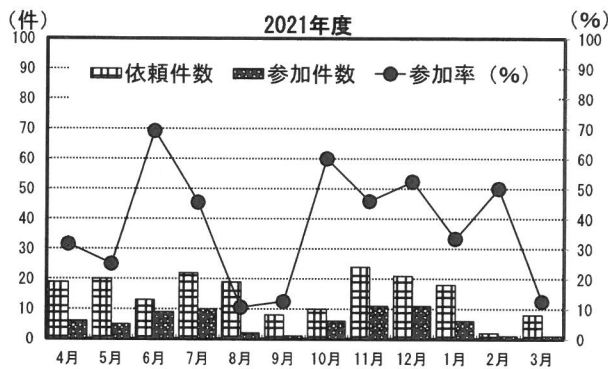
『富山短期大学ハラスメント防止ガイドライン』を、学科学生委員を含むワーキングチームで見直し、バージョンアップを行った。また、令和4年4月からの改正個人情報保護法及び民法の施行に伴い関係資料の内容を見直し、妥当なものへと改編した。

学生のボランティア活動実績 2020～2021年度

1、2021年度月別依頼件数・参加件数

()は2020年度

件数	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	参加件数 依頼件数 (%)
依頼件数		19 (15)	20 (4)	13 (7)	22 (13)	19 (18)	8 (11)	10 (24)	24 (18)	21 (18)	18 (4)	2 (17)	8 (20)	184 (169)	37.5 (26.0)
中止・自粛		0	1	0	0	4	3	0	0	0	3	1	2	14	
参加件数		6 (1)	5 (3)	9 (1)	10 (2)	2 (5)	1 (5)	6 (7)	11 (4)	11 (6)	6 (2)	1 (1)	1 (7)	69 (44)	
参加率(%)		31.6 (6.7)	25.0 (75.0)	69.2 (14.3)	45.5 (15.4)	10.5 (27.8)	12.5 (45.5)	60.0 (29.2)	45.8 (22.2)	52.4 (33.3)	33.3 (50.0)	50.0 (5.9)	12.5 (35.0)		



2、学科別学生参加率

2021年4月～2022年3月

学科・学年		※ 全学生 数(名)	参加 人数 (名)	※ 参加率 (%)	学科 平均 (%)	延人数 (名)	学生1人 あたり 参加回数 (回)
食物	1年	88	32	36.4	26.5	44	1.4
	2年	78	13	16.7		20	1.5
専攻科	1年	16	2	12.5	6.3	17	8.5
	2年	7	0	0.0		0	0.0
幼教	1年	80	69	86.3	63.0	166	2.4
	2年	93	37	39.8		74	2.0
経情	1年	106	45	42.5	22.0	96	2.1
	2年	123	2	1.6		2	1.0
健福	1年	25	9	36.0	19.4	12	1.3
	2年	37	1	2.7		1	1.0
全学生数、 平均参加率		653	210	32.2	-	432	2.1

※参加率は、一人が何回参加しても複数回数には数えていません。

※2020年度に参加率の計算式変更

学年	参加率(%)	学生1人あたり 参加回数(回)
1年	49.8	2.1
2年	15.7	1.8

2020年4月～2021年3月

学科・学年		※ 全学生 数(名)	参加 人数 (名)	※ 参加率 (%)	学科 平均 (%)	延人数 (名)	学生1人 あたり 参加回数 (回)
食物	1年	79	18	22.8	13.2	22	1.2
	2年	85	3	3.5		3	1.0
専攻科	1年	7	0	0.0	22.2	0	0.0
	2年	9	4	44.4		4	1.0
幼教	1年	93	53	57.0	50.7	122	2.3
	2年	90	40	44.4		53	1.3
経情	1年	122	28	23.0	12.6	43	1.5
	2年	129	3	2.3		7	2.3
健福	1年	37	0	0.0	0.0	0	0.0
	2年	42	0	0.0		0	0.0
全学生数、 平均参加率		693	149	21.5	-	254	1.7

※参加率は、一人が何回参加しても複数回数には数えていません。

※2020年度に参加率の計算式変更

学年	参加率(%)	学生1人あたり 参加回数(回)
1年	29.3	1.9
2年	14.1	1.3

【所感】

コロナ禍2年目となり、1年目と比べ依頼数も増え、コロナ対策を取ったうえでの活動が増え参加率も上がっている。本学の活動指針や学科での実習等の状況により、課外活動を制限するなど、引き続きコロナ前と比べると参加率は低い。今年度の特長としては、学内活動のボランティア募集があり、活性化した(グリーンキャンパスボランティア、ポプラプロジェクト、オレンジリボン運動、学生会活動)。卒業前の懇談の中で、学生から「学科の学びを活かしたボランティア活動や他分野の活動に参加できる機会があったことが学生生活のなかでも有意義であった」と感想が述べられた。

2021年度卒用求人票受理状況

2022年3月25日現在

(全体)

単位:件、%

		1~4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年度比	対前々年度比
県内	2019年度	224	77	100	76	29	15	13	6	8	8	0	2	558	87.7%	92.3%
	2020年度	192	(73)100	(111)116	(80)81	31	18	17	10	11	(3)9	2	0	(581)587		
	2021年度	139	(70)83	(105)117	66	(35)42	(20)26	11	(8)14	(9)12	3	1	1	(468)515		
県外	2019年度	151	71	46	51	42	23	12	10	10	5	0	1	422	82.9%	75.8%
	2020年度	170	32	53	48	33	12	22	6	8	2	0	0	386		
	2021年度	121	43	44	39	19	15	12	12	5	8	1	1	320		
合計	2019年度	375	148	146	127	71	38	25	16	18	13	0	3	980	85.8%	85.2%
	2020年度	362	(105)132	(164)169	(128)129	64	30	39	16	19	(5)11	2	0	(967)973		
	2021年度	260	(113)126	(149)161	105	(54)61	(35)41	23	(20)26	(14)17	11	2	2	(788)835		

(一般企業等関係)

単位:件、%

		1~4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年度比	対前々年度比
県内	2019年度	175	13	5	13	5	2	2	2	3	2	0	0	222	98.0%	108.1%
	2020年度	152	(13)40	(12)17	(17)18	5	2	3	1	5	1	1	0	(212)245		
	2021年度	99	(22)35	(32)44	14	(9)16	(2)8	5	(4)8	(5)8	2	0	1	(195)240		
県外	2019年度	83	9	5	9	1	1	1	0	2	4	0	0	115	74.3%	73.0%
	2020年度	81	4	14	9	2	1	0	0	2	0	0	0	113		
	2021年度	56	8	6	4	0	0	0	5	2	2	1	0	84		
合計	2019年度	258	22	10	22	6	3	3	2	5	6	0	0	337	90.5%	96.1%
	2020年度	233	(19)44	(26)31	(26)27	7	3	3	1	7	1	1	0	(325)358		
	2021年度	155	(30)43	(38)50	18	(9)16	(2)8	5	(9)13	(7)10	4	1	1	(279)324		

(業種等関係)

単位:件、%

		1~4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年度比	対前々年度比
県内	2019年度	17	17	14	8	10	4	4	1	3	4	0	1	83	79.2%	68.7%
	2020年度	17	9	12	6	4	6	7	2	1	(1)7	1	0	(66)72		
	2021年度	12	6	12	4	6	8	4	(1)3	1	1	0	0	(55)57		
県外	2019年度	23	9	6	5	4	0	0	2	4	1	0	0	54	93.5%	79.6%
	2020年度	29	4	7	1	2	1	2	0	0	0	0	0	46		
	2021年度	20	1	6	6	4	0	3	2	0	0	0	1	43		
合計	2019年度	40	26	20	13	14	4	4	3	7	5	0	1	137	84.7%	73.0%
	2020年度	46	13	19	7	6	7	9	2	1	(1)7	1	0	(112)118		
	2021年度	32	7	18	10	10	8	7	(3)5	1	1	0	1	(98)100		

(保育士等関係)

単位:件、%

		1~4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年度比	対前々年度比
県内	2019年度	15	28	43	26	11	5	5	3	2	1	0	0	139	90.1%	91.4%
	2020年度	15	24	45	27	13	7	7	3	0	0	0	0	141		
	2021年度	16	27	36	24	12	6	2	2	2	0	0	0	127		
県外	2019年度	36	43	24	31	37	19	8	5	6	0	0	1	210	90.1%	73.8%
	2020年度	46	15	19	31	22	9	18	5	5	2	0	0	172		
	2021年度	33	26	24	25	15	13	7	5	2	5	0	0	155		
合計	2019年度	51	71	67	57	48	24	13	8	8	1	0	1	349	90.1%	80.8%
	2020年度	61	39	64	58	35	16	25	8	5	2	0	0	313		
	2021年度	49	53	60	49	27	19	9	7	4	5	0	0	282		

(介護福祉士等関係)

単位:件、%

		1~4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年度比	対前々年度比
県内	2019年度	25	25	46	36	7	6	3	0	0	2	0	1	151	79.8%	86.1%
	2020年度	17	30	58	31	11	4	2	4	5	1	0	0	163		
	2021年度	19	21	(32)33	32	(9)10	5	3	(2)3	3	3	0	1	0		
県外	2019年度	30	20	14	12	2	4	3	3	0	1	0	1	90	76.5%	68.9%
	2020年度	28	15	17	9	8	0	2	1	1	0	0	0	81		
	2021年度	19	12	9	10	3	1	2	3	1	2	0	0	62		
合計	2019年度	55	45	60	48	9	10	6	3	0	3	0	2	241	78.7%	79.7%
	2020年度	45	45	75	40	19	4	4	5	6	1	0	0	244		
	2021年度	38	33	(41)42	42	(12)13	6	5	(5)6	4	2	1	0	(189)192		

※〔全体〕では求人1件ごとにカウントしている。

※〔全体〕以外では、求人1件の中に複数の職種がある場合はそれぞれの職種にカウントしている。

※()内はハローワーク求人を除いた数。

令和3年度 就職支援 年間スケジュール

※欄外には該当学年を示す

月	内 容	2年生	1年生
R2. 11~2	<ul style="list-style-type: none"> ・学内合同企業研究会（第1回 11/25(木)、第2回 12/9(水)、第3回 2/10(水)） ・進路ガイダンス (食栄12/21(月)・2/18(木)・19(金)、幼教2/3(木)、経情1/6(水)・13(水)・20(水)、専攻科2/1(月)) ・求人依頼状発送 一般企業先699件(12/7(月)) ・求人票開示(1月中旬) ・面接指導(経情) ・第5回就職支援委員会(2/24(水)) 		
3	<ul style="list-style-type: none"> ・進路ガイダンス(健福3/5(金)) ・就職試験 教養科目対策講座(3/18(木)~26(金) 土日祝除く7日間) ・第2回進路希望調査(経情)(3/29(月)~31(水)) ・求人開拓、合同企業説明会の出席指導 		
R3. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・就職特別講演会「学長講話」(4/6(火)) ・編入学ガイダンス(希望者対象者 4/6(火))(食栄8、幼教2、経情5、健福3、計18名) ・進路ガイダンス(経情 4/6(火)) ・学内合同企業説明会(第1回)(4/11(日)) (19社(1社欠席)、経情104、食栄4、健福5、計113名) ・委託給食会社説明会(食栄 4/11(日))4社オンライン形式 ・求人開拓、合同企業説明会の出席指導 		卒業生未内定者就職支援
5	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回就職支援委員会(5/6(木)) ・令和2年度卒業生「進路状況」完成 5/7(金) ・面接指導(食栄 5/10(月)・12(水)) ・ハローワークによるマナー指導(食栄 5/17(月)・19(水)) ・食栄・幼教・健福 求人依頼状発送 469件(5/19(水)) ・求人開拓、合同企業説明会の出席指導 ・求人開拓(卒業生採用お礼・卒業生評価・次年度求人依頼) 		
6	<ul style="list-style-type: none"> ・学内合同企業説明会(第2回)(6/5(土)) Zoom開催に変更 18社(食栄3、幼教1、経情38、健福6名、計48名) ・求人開拓(採用お礼・卒業生評価・次年度求人依頼)、合同企業説明会の出席指導 ・卒業生未内定者就職活動状況確認(下旬) ・保護者会(後援会6/27(日)午後) 		
7	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回進路希望調査(専門学科)(7/2(金)提出締切) ・併設校学内説明会(7/6(火)16:30 A223) ・面接指導(健福)(7/7(水)) ・学内合同企業説明会(第3回)(7/10(土))12社(経情24、食栄1、健福5 計30名) ・面接指導(幼教 7/13(火)・20(火)) ・ハローワークによるマナー指導(健福 7/28(水)) ・第2回就職支援委員会(7/15(木)) ・求人開拓、合同企業説明会の出席指導 ・福祉職場説明会(福祉・介護7/18(日)、児童・保育7/25(日)) 		
8	<ul style="list-style-type: none"> ・学内合同企業説明会(第4回)(8/10(火))5社(経情19名) ・求人開拓、合同企業説明会の出席指導 		
9	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回就職支援委員会(9/16(木)) ・求人開拓、合同企業説明会の出席指導 		
10	<ul style="list-style-type: none"> ・Career Guide2022(就職ガイドブック)完成(10/1(金)) ・就職採用内定開始 ・就職採用内定先訪問(お礼)・追加求人依頼 ・大学祭進路相談会開設、保護者向け就活セミナー対面・オンライン同時開催(10/17(日)) (対面 52、オンライン 48 計 100名) ・求人開拓、合同企業説明会の出席指導 		
11	<ul style="list-style-type: none"> ・学内合同企業研究会(経情 11/17(水)~12/15(水)毎週水曜日、各日2社×5日=計10社) ・次年度予算事務 ・求人開拓、合同企業説明会の出席指導 		
12	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回就職支援委員会(12/2(木))Zoom開催 ・学内合同企業研究会(経情 11/17(水)~12/15(水)毎週水曜日、各日2社×5日=計10社) ・年間奨状送付250件 ・一般企業 求人依頼状発送 704件(12/1(水)) ・1年生進路ガイダンス(食栄 12/20(月)) ・1年生一般企業希望対象者ガイダンス(食栄14名 12/20(月)) ・求人開拓、合同企業説明会の出席指導 		
R4. 1	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業予定者学生の進路状況作成準備 ・求人票開示(1/5(水)) ・1年生進路ガイダンス(経情 1/5(水)・12(水)・19(水)) ・「富山の産業と企業」経情1年対象就職講演会(1/19(水)) ・就職未決定学生の状況把握と就職斡旋強化 ・求人開拓 		
2	<ul style="list-style-type: none"> ・専門学科一般企業就職希望者対象就職ガイダンス(2/1(火)) Zoom開催に変更(食栄4、健福7 計11名) ・学内合同企業研究会(2/9(水)) Zoom開催に変更(食栄4、経情100、健福7 計111名) ・1年生進路ガイダンス(専攻科2/1(火)、幼教2/3(木))Zoom開催に変更、食栄2/17(木)・2/18(金)Zoom開催に変更 ・集団面接練習(経情2/15(火)・16(水)・17(木)) ・第5回就職支援委員会(2/24(木)) Zoom開催 ・就職未決定学生の状況把握と就職斡旋強化 ・求人開拓 ・冬のインターンシップ出席指導 		
3	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生進路ガイダンス(健福 3/7(月)) ・卒業式(3/16(木)) ・求人開拓、合同企業説明会の出席指導 ・1年生 教養科目対策講座(3/17(木)~28(月)土・日・祝日を省く7日間)Zoom開催に変更 申込者(食栄6、幼教41、経情3、健福2、専5 計57名) ・卒業生進路先名簿作成(3月末)：印刷配付4月中旬予定 		

令和3年度 富山短期大学 進路内定状況

就職支援センター
令和4年3月25日(金) 現在

1. 学科別状況

(単位:人、%)

学科	卒業生数	就職希望者数①	就職先決定者数②	内定率(%) ②÷①	就職決定先内訳		就職外希望者数	就職外希望者内訳				参考 卒業式 内定率(%)		
					県内	県外		大学学部	専修等	研究生	その他	令和3年度	令和2年度	令和元年度
食物栄養	男	1	1	100.0	1	0	0	0	0	0	0	100.0	87.5	100.0
	女	77	69	89.7	67	2	8	6	0	0	2	100.0	95.8	100.0
	計	78	70	89.7	68	2	8	6	0	0	2	100.0	94.9	100.0
幼児教育	男	5	5	100.0	5	0	0	0	0	0	0	100.0	50.0	100.0
	女	89	86	96.6	82	3	3	1	1	0	1	98.8	100.0	100.0
	計	94	91	96.8	87	3	3	1	1	0	1	98.9	98.9	100.0
経営情報	男	33	31	93.9	30	1	2	2	0	0	0	100.0	100.0	100.0
	女	89	84	94.4	82	2	5	2	0	0	3	100.0	100.0	100.0
	計	122	115	94.3	112	3	7	4	0	0	3	100.0	100.0	100.0
健康福祉	男	5	5	100.0	5	0	0	0	0	0	3	100.0	100.0	100.0
	女	32	30	93.8	26	2	2	2	0	0	0	93.3	96.2	100.0
	計	37	35	94.6	31	2	2	2	0	0	0	94.3	97.2	100.0
合計	男	44	42	95.5	41	1	2	2	0	0	0	100.0	95.7	100.0
	女	287	269	93.7	257	9	18	11	1	0	6	98.9	98.6	100.0
	計	331	311	93.9	298	10	20	13	1	0	6	99.0	98.2	100.0

専攻科	男	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	100.0	
	女	7	5	5	71.4	5	0	2	0	0	2	0	80.0	100.0	100.0
	計	7	5	5	71.4	5	0	2	0	0	2	0	80.0	100.0	100.0

研究生	男	2	2	100.0	1	1	0	0	0	0	0	100.0	100.0	0.0
	女	7	7	100.0	5	0	0	0	0	0	0	57.1	63.6	75.0
	計	9	9	100.0	6	1	0	0	0	0	0	66.7	66.7	69.2

※研究生就職決定者7名の職種は、管理栄養士が5名、栄養士2名である。

2. 専門職関係(学科)

(単位:人、%)

学科	就職先決定者数	専門職関係(就職決定者中)	
		人数	比率(%)
食物栄養(栄養士)	男	1	100.0
	女	63	91.3
	計	64	91.4
幼児教育	男	4	80.0
	女	82	96.5
	計	86	95.6
健康福祉	男	5	100.0
	女	26	92.9
	計	31	93.9

3. 就職先決定者 応募種類別

(令和4年3月25日時点届出済み分、単位:人、%)

応募種類別	人数	比率(%)
学内求人(学校推薦・自由応募)	176	56.4
合同企業がダンス・ネット求人・他	114	36.5
公務員	22	7.1
計	312	100.0

4. 求人票受理件数

(単位:件%)

	県内	県外	計
2019年度	558	422	980
2020年度	587 (581)	386	973 (967)
2021年度	515 (468)	320	835 (788)
対前年度比(%)	87.7 (80.6)	82.9	85.8 (81.5)
対前々年度比(%)	92.3 (83.9)	75.8	85.2 (80.4)

※2020年度及び2021年度の県内については、ハローワーク求人を含む

※()内の数値は実数

5. 編入学等進学決定状況

(単位:人)

大学	学部学科	所属学科	人数
富山大学	経済学部経営学科	経情	1
岐阜女子大学	家政学部健康栄養学科	食栄	3
金沢学院大学	人間健康学部健康栄養学科	食栄	2
同朋大学	社会福祉学部社会福祉学科	健福	1
富山国際大学	現代社会学部現代社会学科	食栄	1
		経情	3
	子ども育成学部子ども育成学科	幼教	1
中央仏教学院	本科	幼教	1
富山短期大学	研究生	専攻科	6

※1 富山短期大学研究生合格者6名には就職希望者4名を含む

令和3年度 富山短期大学 進路内定状況および進路先一覧

1、進路内定状況

(単位:人、%)

学 科	卒業生数	就職	就職	内定率(%) ②÷①	就職決定先内訳		就職外 希望者数	就職外希望者内訳			
		希望者数①	決定者数②		県内	県外		大学学部	専修等	研究生	その他
食物栄養	78	70	70	100.0	68	2	8	6	0	0	2
幼児教育	94	91	90	98.9	87	3	3	1	1	0	1
経営情報	122	115	115	100.0	112	3	7	4	0	0	3
健康福祉	37	35	33	94.3	31	2	2	2	0	0	0
合 計	331	311	308	99.0	298	10	20	13	1	0	6
専攻科	7	5	5	100.0	5	0	2	0	0	2	0

2、内定先事業所一覧

※複数の場合は()内に人数を表記

【食物栄養学科】

製造業	電子部品・電気機械器具	タカノギケン(株)
卸売業、小売業	小売業	(株)シャトレーゼ、(株)広小路コンタクト
金融・保険業	保険業	富山県農業共済組合
不動産・物品賃貸業		(株)ディライト
宿泊業、飲食サービス業		はなまる
	給食・委託給食	(株)アルス、シダックス(株)(3)、(株)ディライフ、(株)東洋食品、日清医療食品(株)(2)、日本海給食(株)(13)、(株)メフォス(4)、(株)安田物産
生活関連サービス業		ABC Cooking Studio
教育、学習支援業	学校教育	(公財)鉄道弘済会、(福)富山学院福祉会(3)、(福)新川児童福祉会
医療・福祉	社会福祉等事業	黒部市民病院、厚生連高岡病院、(医財)五省会、佐野小児歯科医院、(医財)城南会、すぎもと歯科医院、富山赤十字病院、富山大学附属病院 (福)宇奈月福祉会、(福)般若福祉会(2)、(福)喜寿会、(福)光風会、(福)小杉福祉会(2)、(福)三福(2)、(福)秀愛会、(福)千寿会、(福)宣長康久会、(福)砺波福祉会、(福)富山城南会(2)、(福)新川会、(福)早川福祉会、まちかどふれあいほーむ一休庵、(医社)翠十字会(2)、(福)和合福祉会(2)
複合サービス事業		なのはな農業協同組合

【幼児教育学科】

製造業	業務用機械器具等	(株)ユーピーディー
	電子部品・電気機械器具	(株)東洋電機製作所
教育、学習支援業	学校教育	南砺市 (福)あおぞら福祉会、(福)あおぞらこども福祉会、(学)アームストロング青葉幼稚園(2)、(福)射水万葉会(2)、(福)魚津保育会(2)、(福)大山保育会、(福)奥田福祉会(2)、(福)恩賜財団済生会支部 富山県済生会、(福)かたかご会、(福)上関保育園、(福)国吉ちくば保育園(2)、(学)白藤学園、(福)すこやかこども福祉会(2)、(学)清光学園、(福)高原福祉会、(学)中央学園、(福)となみ中央福祉会(2)、(福)富山学院福祉会(2)、(福)富山国際学園福祉会(3)、(福)富山市ひかり保育園、(福)富山YMCA福祉会(2)、(福)新川児童福祉会(2)、(福)東山福祉会(2)、(学)藤学園、(福)マヤ児童福祉会、(福)みつば福祉会、(学)三輪学園(3)、(学)むつみ学園(2)、(福)萌黄福祉会、(福)四方福祉会、(福)わかかき福祉会(2)、(福)わかば福祉会(5)、(学)渡辺学園
	その他の教育	(有)黒川電機商会
医療・福祉	社会福祉等事業	射水市、上市町、高岡市、富山市(9)、入善町(2)、魚津市、立山町、糸川川市 (福)育三会、(福)般若福祉会、(福)正徳保育園(2)、(福)伸こう福祉会、(福)清陵児童福祉会、(福)セーナー苑、(福)大門福祉会、(福)戸出北部保育園、富山県リハビリテーション病院、(株)プレステージ・インターナショナル富山BPOタウン、(福)ルンビニ園(3)
卸売業、小売業	小売業	マクドナルド

【経営情報学科】

建設業		石友ホーム(株)、(株)オリバー、正栄産業(株)、北陸ミサワホーム(株)
製造業	食料品・飲料等	(株)昔亭、(株)千里山荘、バイホロン(株)(2)、(株)北陸フレッシュフーズ(2)、ホワイト食品工業(株)
	化学工業等	キタノ製作(株)(5)、戸出化成(株)、(株)バナケイア製薬、(株)リツテル
	非鉄金属・金属製品等	NSK富山(株)、黒谷(株)、コンチネンタル(株)、三東テクノスチール(株)、中越合金鋳工(株)、津根精機(株)、藤堂工業(株)(2)、北陸アルミニウム(株)(2)、(株)ユニゾーン、YKK(株)(2)
	電子部品・電気機械器具	タカノギケン(株)(2)、立山電化工業(株)、テクノプラス(株)、(株)富山村田製作所(3)、北陸電気工業(株)、(株)山口技研
	業務用機械器具等	協和マシン(株)、(株)シンコー、(株)スギノマシン(2)
	その他	富士安全硝子工業(株)
電気・ガス・熱供給・水道業		北日本物産(株)
情報通信業		(株)アズコムコミュニケーションズ、AWS(株)、コムテックス(株)、成和システムエンジニアリング(株)、(株)フクール
運輸業、郵便業		(株)スリー・ティ、伏木海陸運送(株)(2)、丸栄運輸機工(株)、ヤマト運輸(株)
卸売業、小売業	卸売業	石黒産業(株)、柴田食品(株)、(株)富冷、(株)藤木自動車商会(2)、(株)モリタ、ヤマイチ(株)
	小売業	(株)アインホールディングス(2)、アルビス(株)、(有)イズム、(株)クスリのアオキ(2)、(株)スギ薬局、(株)スズキ自販富山(2)、中部薬品(株)、チューリップ調剤(株)(3)、東洋通信工業(株)(2)、トヨタカローラ富山(株)、(株)ピューマ、(株)ブルーコムブルー、(株)ワシントン靴店
金融業、保険業	金融業	高岡信用金庫、砺波信用金庫、(株)富山銀行、にいかわ信用金庫、(株)北陸カード(2)
学術研究・専門・技術サービス業	その他専門	(株)協和、富山県商工会連合会
不動産・物品賃貸業		朝日不動産(株)、(株)ダスキン北陸、(株)前田商会不動産サービス
生活関連サービス業、娯楽業		(株)プレステージ・インターナショナル富山BPOタウン(12)
教育、学習支援業	学校教育	(学)富山国際学園
複合サービス事業		いみず野農業協同組合、なのはな農業協同組合
サービス業 (他に分類されないもの)		(株)ウォーライト、テンプスタッフフォーラム(株)、(株)日本空調北陸
公務	国家・地方公務員	海上自衛隊、長野県庁、富山市役所、南砺市立中央図書館

【健康福祉学科】

製造業	非鉄金属・金属製品等	北陸アルミニウム(株)
卸売業、小売業	小売業	(株)アインホールディングス、ウエルシア薬局(株)
医療・福祉	社会福祉等事業	アムケア(株)、(福)相幸福祉会、(医社)いずみ会(2)、(医社)桑山会、(福)光風会(2)、(医財)五省会、NPO法人しおんの家、(福)秀愛会、(福)神通福祉会、(医社)整志会、(医社)千木福久会、(福)大門福祉会(2)、(福)戸出福祉会、(株)とやまヒューマンサービス、(福)新潟市社会事業協会、(福)福寿会、(福)福風会、NPO法人ふるさとのあかり、北陸中央病院(3)、(福)陽光福祉会(2)、(福)和合福祉会(2)
生活関連サービス業、娯楽業		(株)プレステージ・インターナショナル富山BPOタウン

【専攻科食物栄養専攻】

教育、学習支援業	学校教育	(学)富山国際学園
宿泊業、飲食サービス業	給食・委託給食	(有)三給、(株)メフォス
医療・福祉	社会福祉等事業	(福)喜寿会
公務	地方公務員(県)	富山県公立学校 栄養教諭(臨任)

3、進学先

大学	学部学科	所属学科	人数	大学	学部学科	所属学科	人数
富山大学	経済学部経営学科	経情	1	富山国際大学	現代社会学部現代社会学科	食栄	1
岐阜女子大学	家政学部健康栄養学科	食栄	3			経情	3
金沢学院大学	人間健康学部健康栄養学科	食栄	2		子ども育成学部子ども育成学科	幼教	1
同朋大学	社会福祉学部社会福祉学科	健福	1			健福	1
中央仏教学院	本科	幼教	1	富山短期大学	研究生	専攻科	5

※富山短期大学研究生5名には就職希望者・決定者の3名を含む。

令和4年度 編入学等合格状況について

[報 告]

令和4年3月25日現在
単位:人()内は男子内数

○ 指定校編入学 合格者 0名

○ 一般編入学 合格者 7名

大 学	学 部 ・ 学 科	出身学科	人数	備考
富山大学	経済学部経営学科	経営情報学科	1(1)	
岐阜女子大学	家政学部健康栄養学科	食物栄養学科	3	
金沢学院大学	人間健康学部健康栄養学科	食物栄養学科	2	
同朋大学	社会福祉学部社会福祉学科	健康福祉学科	1	

○ 大学併設校編入学 合格者 7名

大 学	学 部 ・ 学 科	出身学科	人数	備考
富山国際大学	現代社会学部現代社会学科	食物栄養学科	1	
		経営情報学科	4(2)	
	子ども育成学部子ども育成学科	幼児教育学科	1	
		健康福祉学科	1	

○ 本学研究生 合格者 6名

大 学	学 部 ・ 学 科	出身学科	人数	備考
富山短期大学	研究生	専攻科食物栄養専攻	6	

○ 短大・専修等進学 合格者 1名

大 学	学 部 ・ 学 科	出身学科	人数	備考
中央仏教学院	本科	幼児教育学科	1	

[参 考]

○令和4年度編入学指定校依頼実績 (計 26校)

- ・大阪経済法科大学
- ・金城学院大学
- ・岐阜女子大学
- ・京都産業大学
- ・くらしき作陽大学
- ・国士舘大学
- ・京都光華女子大学
- ・種智院大学
- ・聖徳大学
- ・聖徳大学短期学部
- ・相模女子大学
- ・千里金蘭大学
- ・太成学院大学
- ・東海学院大学
- ・仁愛大学
- ・東京情報大学
- ・東洋英和女学院大学
- ・東洋学園大学
- ・東京経済大学
- ・日本福祉大学
- ・兵庫大学
- ・びわこ学院大学
- ・新潟医療福祉大学
- ・松本大学
- ・桃山学院大学
- ・平安女学院大学

令和4年度 指定校編入学受付一覧表

就職支援センター

【全学科】

受付No	大学名	学部・学科名	募集人員	対象学科	学内締切	出願期間	試験日
1	岐阜女子大学	文化創造学部	1名	全学科	[早期]R3.5.25(火) [Ⅰ期]R3.7.12(月) [Ⅱ期]R3.10.25(月) [Ⅲ期]R3.12.13(月) [Ⅳ期]R4.2.14(月)	[早期]R3.6.1(火)～6.14(月) [Ⅰ期]R3.7.19(月)～7.28(水) [Ⅱ期]R3.11.1(月)～11.15(月) [Ⅲ期]R4.1.5(水)～1.21(金) [Ⅳ期]R4.2.21(月)～2.28(月)	[早期]R3.6.20(日) [Ⅰ期]R3.8.4(水) [Ⅱ期]R3.11.23(祝) [Ⅲ期]R4.1.30(日) [Ⅳ期]R4.3.7(月)
3	金城学院大学	国際情報学部国際情報学科グローバルスタディーズコース	1名	全学科 (女子)	R3.6.9(水)	R3.6.16(水)～6.23(水)	R3.7.3(土)
		国際情報学部国際情報学科メディアスタディーズコース	1名				
4	種智院大学	人文学部 仏教学科 社会福祉学科	各1名	全学科	R3.9.24(金)	R3.10.1(金)～10.14(木)	R3.10.24(日)
7	東京経済大学	経営学部 流通マーケティング学科 コミュニケーション学部 コミュニケーション学科 現代法学部 現代法学科	1名 1名 1名	全学科	R3.9.17(金)	R3.9.27(月)～9.30(木)	R3.10.17(日)
9	日本福祉大学	社会福祉学部 社会福祉学科 医療専修 社会福祉学部 社会福祉学科 人間福祉専修 経済学部 経済学科 国際福祉開発学部 国際福祉開発学科	1名 1名 1名 1名	全学科	[前期]R3.9.10(金) [後期]R4.1.17(月)	[前期]R3.9.17(金)～9.27(月) [後期]R4.1.24(月)～2.2(水)	[前期]R3.10.24(日) [後期]R4.2.12(土)
10	仁愛大学	人間学部 心理学科・コミュニケーション学科	2名	全学科	[Ⅰ期]R3.8.26(木) [Ⅱ期]R4.1.17(月)	[Ⅰ期]R3.9.2(木)～9.10(金) [Ⅱ期]R4.1.24(月)～2.7(月)	[Ⅰ期]R3.9.18(土) [Ⅱ期]R4.2.12(土)
14	東京情報大学	総合情報学部 総合情報学科	2名	全学科	R3.11.15(月)	R3.11.22(月)～12.3(金)	R3.12.11(土)
15	桃山学院大学	国際教養学部 英語・国際文化学科 社会学部 社会学科、社会福祉学科 法学部 法律学科 経済学部 経済学科 経営学部 経営学科	3名	全学科	R3.9.24(金)	R3.10.1(金)～10.8(金)	R3.10.24(日)
17	相模女子大学	学芸学部 メディア情報学科 人間社会学部 社会マネジメント学科 人間社会学部 人間心理学科	1名 1名 1名	全学科	R3.10.15(月)	R3.10.25(月)～11.15(日)	R3.11.20
19	太成学院大学	人間学部 子ども発達学科・健康スポーツ学科・ 心理カウンセリング学科	2名	全学科	[A日程]R3.9.17(金) [B日程]R3.11.8(月) [C日程]R4.1.24(月)	[A日程]R3.9.27(月)～10.7(木) [B日程]R3.11.15(月)～11.26(金) [C日程]R4.1.31(月)～2.11(金)	[A日程]R3.10.16(土) [B日程]R3.12.4(土) [C日程]R4.2.18(金)
22	聖徳大学	児童学部、心理・福祉学部、文学部、音楽学部	若干名	全学科	R3.9.14(火)	R3.9.21(火)～9.27(月)	R3.10.3(日)
23	聖徳大学短期大学部	医療保育専攻、服飾文化専攻	若干名	医療保育専攻は幼 教、他は全 学科	R3.9.14(火)	R3.9.21(火)～9.27(月)	R3.10.3(日)
24	東海学院大学	人間関係学部 心理学科、子ども発達学科 健康福祉学部 総合福祉学科、管理栄養学科	計4名	全学科	[前期]R3.9.17(金) [中期]R3.11.22(月) [後期]R4.1.31(月)	[前期]R3.9.27(月)～10.7(木) [中期]R3.11.29(月)～12.9(木) [後期]R4.2.7(月)～2.17(木)	[前期]R3.10.16(土) [中期]R3.12.18(土) [後期]R4.2.26(土)
25	東洋学園大学	グローバル・コミュニケーション学部 グローバル・コミュニケーション学科 グローバル・コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科 人間科学部 人間科学科 現代経営学部 現代経営学科	1名 1名 1名 2名	全学科	R3.10.25(月)	R3.11.1(月)～11.10(水)	R3.11.21(日) R3.11.23(火) R3.11.20(土)
26	東洋英和女学院大学	人間科学部 人間科学科 人間科学部 保育子ども学科	2名 1名	全学科	R3.9.8(水)	R3.9.15(水)～9.22(水)	R3.10.24(日)
27	大阪経済法科大学	経済学部 経済学科 経営学部 経営学科 国際学部 国際学科 法学部 法律学科	前期・ 後期を 通じて いずれ か1名	全学科	[前期]R3.10.25(月) [後期]R3.12.17(金)	[前期]R3.11.1(月)～11.16(火) [後期]R4.1.5(水)～1.18(火)	[前期]R3.11.21(日) [後期]R4.1.25(火)

令和4年度 指定校編入学受付一覧表

就職支援センター

【食物栄養学科】

受付No	大学名	学部・学科名	募集人員	対象学科	学内締切	出願期間	試験日
1	岐阜女子大学	家政学部	1名	食栄	[早期]R3.5.25(火) [Ⅰ期]R3.7.12(月) [Ⅱ期]R3.10.25(月) [Ⅲ期]R3.12.13(月) [Ⅳ期]R4.2.14(月)	[早期]R3.6.1(火)～6.14(月) [Ⅰ期]R3.7.19(月)～7.28(水) [Ⅱ期]R3.11.1(月)～11.15(月) [Ⅲ期]R4.1.5(水)～1.21(金) [Ⅳ期]R4.2.21(月)～2.28(月)	[早期]R3.6.20(日) [Ⅰ期]R3.8.4(水) [Ⅱ期]R3.11.23(祝) [Ⅲ期]R4.1.30(日) [Ⅳ期]R4.3.7(月)
5	千里金蘭大学	生活科学部 食物栄養学科	2名	食栄	R3.11.1(月)	R3.11.8(月)～11.15(月)	R3.11.21(日)
10	仁愛大学	人間学部 健康栄養学科	1名	食栄	[Ⅰ期]R3.8.26(木) [Ⅱ期]R4.1.17(月)	[Ⅰ期]R3.9.2(木)～9.10(金) [Ⅱ期]R4.1.24(月)～2.7(月)	[Ⅰ期]R3.9.18(土) [Ⅱ期]R4.2.12(土)
11	くらしき作陽大学	食文化学部 栄養学科	1名	食栄	[Ⅰ期] R3.8.25(水) [Ⅱ期] R3.10.18(月) [Ⅲ期] R3.12.20(月) [Ⅳ期] R4.2.14(月)	[Ⅰ期] R3.9.1(水)～9.9(木) [Ⅱ期] R3.10.25(月)～11.4(木) [Ⅲ期] R4.1.11(火)～1.24(月) [Ⅳ期] R4.2.21(月)～3.3(木)	[Ⅰ期] R3.9.18(土) [Ⅱ期] R3.11.13(土) [Ⅲ期] R4.2.1(火) [Ⅳ期] R4.3.14(月)
12	兵庫大学	健康科学部 栄養マネジメント学科 (管理栄養士養成施設)	1名	食栄	R3.8.25(木)	R3.9.1(水)～10.7(木)	R3.10.17(日)
16	松本大学	人間健康学部 健康栄養学科	1名	食栄	[Ⅰ期]R3.8.16(月) [Ⅱ期]R3.11.22(月)	[Ⅰ期]R3.8.23(月)～9.3(金) [Ⅱ期]R3.11.29(月)～12.7(火)	[Ⅰ期]R3.9.18(土) [Ⅱ期]R3.12.11(土)

【幼児教育学科】

受付No	大学名	学部・学科名	募集人員	対象学科	学内締切	出願期間	試験日
6	新潟医療福祉大学	社会福祉学部 社会福祉学科	1名	幼教、健福	R3.9.6(月)	R3.12.3(金)～R3.12.13(月) エントリー期間 R3.9.13(月)～ 11.19(金)	R3.12.18(土)
8	びわこ学院大学	教育福祉学部 子ども学科	1名	幼教	R3.8.17(火)	R3.8.24(火)～9.1(水)	R3.9.11(土)
20	京都光華女子大学	健康科学部 心理学科	若干名	幼教	R3.9.17(金)	R3.9.24(金)～10.7(木)	R3.10.16(土)
21	平安女学院大学	子ども教育学部 子ども教育学科	2名	幼教	[Ⅰ期]R3.9.17(金) [Ⅱ期]R3.10.25(月) [Ⅲ期]R4.12.17(金) [Ⅳ期]R4.1.17(月)	[Ⅰ期]R3.9.27(月)～10.8(金) [Ⅱ期]R3.11.1(月)～11.12(金) [Ⅲ期]R4.1.5(水)～1.19(水) [Ⅳ期]R4.1.24(月)～2.14(月)	[Ⅰ期]R3.10.17(日) [Ⅱ期]R3.11.21(日) [Ⅲ期]R4.1.30(日) [Ⅳ期]R4.2.20(日)
23	聖徳大学短期大学部	医療保育専攻、服飾文化専攻	若干名	医療保育 専攻は幼 教、他は全 学科	R3.9.14(火)	R3.9.21(火)～9.27(月)	R3.10.3(日)
26	東洋英和女学院大学	国際社会学部 国際社会学科、国際コミュニケーション学科	各1名	幼教、経 情	R3.9.8(水)	R3.9.15(水)～9.22(水)	R3.10.24(日)

【経営情報学科】

受付No	大学名	学部・学科名	募集人員	対象学科	学内締切	出願期間	試験日
2	国士館大学	経営学部	2名	経情	R3.9.17(金)	R3.9.24(金)～10.1(金)	R3.11.21(日)
12	兵庫大学	現代ビジネス学部 現代ビジネス学科	1名	経情	R3.8.25(木)	R3.9.1(水)～10.7(木)	R3.10.17(日)
13	京都産業大学	経営学部 マネジメント学科	2名	経情	R3.10.25(月)	R3.11.1(月)～11.9(火)	R3.11.27(土)
18	国士館大学	政経学部 政治行政学科、経済学科	各1名	経情	R3.9.17(金)	R3.9.24(金)～10.1(金)	R3.11.21(日)
26	東洋英和女学院大学	国際社会学部 国際社会学科、国際コミュニケーション学科	各1名	幼教、経 情	R3.9.8(水)	R3.9.15(水)～9.22(水)	R3.10.24(日)

【健康福祉学科】

受付No	大学名	学部・学科名	募集人員	対象学科	学内締切	出願期間	試験日
6	新潟医療福祉大学	社会福祉学部 社会福祉学科	1名	幼教、健福	R3.9.6(月)	R3.12.3(金)～R3.12.13(月) エントリー期間 R3.9.13(月)～ 11.19(金)	R3.12.18(土)
20	京都光華女子大学	健康科学部 医療福祉学科社会福祉専攻	若干名	健福	R3.9.17(金)	R3.9.24(金)～10.7(木)	R3.10.16(土)

令和3年度カウンセリング室利用状況（富山短期大学）

2名の学生相談員の合計

令和3年4月1日～令和4年3月24日

月	相 談 分 類 内 訳											利用のべ人数	
	学業・実習・単位不足の悩み	進路・資格・就職の悩み	対人関係の悩み	性格の悩みによる不安	心身の健康保持の問題	教職員との問題	家庭の問題（貧困問題、虐待/暴力含む）	発達障害（二次/学習障害含む）	いじめ・暴力加害・暴力被害 社会的逸脱行為・依存症	ジェンダーの悩み・性の問題	心理検査による相談		教員/保護者との連携・相談
4月					3			2				内訳: 教員2 2	7
5月		1			1		1			1		内訳: 校医1 保護者1 2	6
6月			2	1	2		1						6
7月		2	2		3								7
8月			1										1
9月	1		1										2
10月		3	1									内訳: 保護者2 2	6
11月					3								3
12月			2		6		2					内訳: 校医1 就職センター長1 健康支援センター長1 3	13
1月		1			4							学科長 1	6
2月					4								4
3月		1			2							内訳: 保護者1 教員1 就職センター長1 3	6
計	1	8	9	1	28	0	4	2	0	1	0	13	67

富山短期大学学生会会則

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は富山短期大学学生会と称する。

(目的)

第2条 本会は富山短期大学の教育精神に基づき、健全な学生活動を行うとともに、会員相互の親睦をはかることを目的とする。

(本部)

第3条 本会の本部は富山短期大学内におく。

第2章 組織

(構成)

第4条 本会は富山短期大学に在学する全学生を以って構成する。

(組織)

第5条 本会はその目的遂行のため、次の機関を以って組織する。

- (1) 学生総会
- (2) 総務委員会
- (3) 執行委員会
- (4) 監査委員会
- (5) 選挙管理委員会
- (6) 専門委員会
- (7) クラブ会

第1節 学生総会

(構成・権限)

第6条 学生総会（以下「総会」と称す。）は会員によって構成される本会の最高議決機関であり、本会の基本方針を決議する。

(召集)

第7条 定例総会は年1回、学生会長が召集する。ただし、次に掲げる場合には臨時総会を開かなければならない。

- (1) 執行委員会が必要認めたとき
- (2) 総務委員会の要求があったとき
- (3) 会員の3分の1以上の要求があったとき

(開催)

第8条 総会は会員の過半数の出席をもって成立し、出席会員の過半数によって決議する。

(役員)

第9条 総会の議長・副議長は学生会長によって指名され、出席会員の過半数の承認を必要とする。

(決議)

第 10 条 総会は次の事項を決議する。

- (1) 活動報告
- (2) 予算及び決算
- (3) 総務委員会から 提出された事項
- (4) 会則改正に関する 審議・ 決議

(会員投票)

第 11 条 総会が開催不可能、 または、 流会になった場合、 学生会長は総会にかわる ものとして次の事項に基づき、 会員投票を行うことができる。

- 1 有効投票の過半数を以て決議される。 但し、 有効投票数は会員の過半数でなければなら ない。
- 2 会員投票の投票管理は、 選挙管理委員会がこれにあたる。

第 2 節 総務委員会

(機能)

第 12 条 総務委員会は総会を除く 活動についての議決機関である。

(任務)

第 13 条 総務委員会は本会の目的遂行のための諸問題を審議・ 決議する。

- 2 総務委員は委員会をより活発にする ために議案審議に参加する 義務を有し、 審議事 項の討議・ 決議にあたる。
- 3 総務委員はクラスにおいてそのクラス の会員の意見をまとめ、 総務委員会の討議議題 として、 委員会に提出することができる。

(公開)

第 14 条 総務委員会は公開を原則とする。 但し、 聴衆には議決権はない。

(構成)

第 15 条 総務委員は各クラス から 選出さ れた 2 名ずつの代表委員によって構成される。

(役員)

第 16 条 総務委員会の役員は委員の互選とし、 次の通りと する。

- (1) 総務委員長 (議長) 1 名
- (2) 総務副委員長 (副議長) 1 名
- (3) 書記 2 名

(召集)

第 17 条 総務委員会は毎週一回の定例委員会を開く。 その他に次の場合議長がこれを召 集し、 臨時委員会を開くことができる。

- (1) 議長が必要と認めた場合
- (2) 各委員会の要求があつて議長がそれを認めた場合
- (3) 総務委員の 3 分の 1 以上が必要を認めた場合

(議決)

第 18 条 総務委員会は委員の過半数の出席を以って成立し、議事は出席委員の過半数によって議決する。

但し、同数の場合は議長の採択による。

(代理人)

第 19 条 総務委員は不慮の事故で総務委員会に出席できない場合、議長に委任状を提出し、代理人をたてなければならない。但し、代理人を出す場合はクラスの過半数の承認を得なければならない。また、総務委員は代理人を兼ねることはできない。

(議長)

第 20 条 議長は総務委員会の円滑な議事進行を図り、委員の必要外の発言を制する権限を有する。

2 議長は無届で総務委員会を欠席した総務委員に対して警告を発する義務がある。

3 議長は議事進行に支障をきたすと認めた場合、その委員(聴衆)に退場を命ずることができる。

4 議長は必要に応じて参考人を呼ぶことができる。

(委員投票)

第 21 条 総務委員会が開催不可能または流会になり、緊急に決議することが必要な場合、議長は次の通りに委員投票を行うことができる。

(1) 有効投票数の過半数の賛成を得なければならない。但し、有効投票数は委員の過半数でなければならない。

(2) 委員投票に関するすべての管理は執行委員会がこれにあたる。

(任期)

第 22 条 総務委員及び委員会役員の任期は4月1日より翌年3月31日までとする。

(辞任・補選)

第 23 条 総務委員の辞任はその委員のクラス会員の過半数の同意を必要とし、辞任した場合、そのクラス

は一週間以内に補選しなければならない。

2 総務委員会は議長もしくは副議長、書記の任務遂行不可能と認めた場合、また議長・副議長の辞任届を委員の過半数によって認めた場合、一週間以内に補選しなければならない。

(解任)

第 24 条 議長は委員の3分の2以上の多数をもって不相当と認めた委員を解任することができる。

(不信任)

第 25 条 総務委員会は総会において過半数の会員によって不信任された場合、後任が選出された後、直ちに解散しなければならない。

第 3 節 執行委員会

(機能)

第 26 条 執行委員会は本会の最高執行機関であり、 総会及び総務委員会の決議事項の執行にあたる。

(構成)

第 27 条 執行委員会は次の委員を以て構成する。

- (1) 執行委員長 (学生会長) 1 名
- (2) 執行副委員長 (学生副会長) 2 名
- (3) 会計 2 名
- (4) 書記 2 名
- (5) 渉外 2 名

各委員は執行委員会の過半数の承認を得て、 各々補佐をもつことができる。

(選出)

第 28 条 執行委員長 (学生会長) は会員による 会長選挙によって選出される。 選挙についてはその一切の管理事務は選挙管理委員がこれにあたり、 別項の選挙規約に従う。
2 執行副委員長 (学生副会長) 以下の委員は委員長委嘱とし、 会員中より委員長が推薦し、 総会において過半数の承認を得なければならない。

(任務)

第 29 条 執行委員は下記の任務を負う。

- (1) 執行委員長は、 本会を代表し、 その全般的執務及び執行委員会を統轄する。
- (2) 執行副委員長は、 委員長を補佐し、 また、 委員長代理として委員長に事故ある場合はその任務・ 権限を代行する。
- (3) 会計は、 執行委員長を補佐し、 本会の会費の徴収・ 支出の管理・ 予算・ 決算の作成等の財務業務を行ない、 定例総会において決算報告を行なわねばならない。
- (4) 書記は、 執行委員長を補佐し、 本会の事務手続にあたり、 必要とする 会議に出席し、 議事の記録を行なう。 また、 その書類作成及び保存を行なう。
- (5) 渉外は、 執行委員長を補佐し、 本会の渉外事務にあたる。

(召集)

第 30 条 執行委員会は執行委員長が必要と認めた場合、 または、 過半数の執行委員の要求があった場合、 執行委員長が召集し、 委員の過半数を以って開催することができる。

(任期)

第 31 条 執行委員の任期は 4 月 1 日より 3 月 31 日までとする。

(不信任)

第 32 条 執行委員会に対する 不信任案は会員の 3 分の 1 以上の連署を以って総務委員会に提出することができる。

2 不信任案が総務委員会で受理検討された場合、 1 週間以内に総会を開催し、 審議しなければならない。

3 不信任案が会員の過半数で決議された場合、執行委員会は後任者の選出された後、直ちに解散しなければならない。

(辞任、補選)

第 33 条 執行委員長の辞任は総務委員会の過半数の同意を必要とする。

2 辞任した場合、後任者の選出については第 28 条第 1 項に準ずる。

3 執行副委員長以下の委員の辞任については執行委員長の同意を必要とする。

4 辞任した場合の後任者については第 28 条第 2 項に準ずる。

(罷免)

第 34 条 執行委員長は不適任と認められる委員について、委員会で協議の上罷免することができる。

(兼任)

第 35 条 執行委員は他の委員を兼ねることはできない。

第 4 節 監査委員会

(機能)

第 36 条 監査委員会は本会全般にわたって監査を行なう機関である。

(任務)

第 37 条 監査委員会は次の任務を負う。

(1) 年度末に本会の一般会計・記録を監査する。

(2) 会則改正案、不信任案に伴なう連署を監査する。

(構成)

第 38 条 監査委員会は各学年 3 名ずつの委員によって構成する。

(選出)

第 39 条 監査委員は総務委員会によって指名される。

(任期)

第 40 条 監査委員の任期は 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとする。

(役員)

第 41 条 監査委員会は次の役員を置く。

(1) 監査委員長 1 名

(2) 監査副委員長 1 名

(3) 書記 2 名

2 役員は監査委員の互選とする。

(召集)

第 42 条 監査委員会は次の場合に委員長がこれを召集する。

(1) 監査委員長が必要と認めた場合

(2) 監査委員の 3 分の 1 以上の要求があった場合

(決議)

第 43 条 監査委員会は委員の過半数の出席をもって成立し、議事は出席委員の過半数で決議す。但し、同数の場合は議長の採択による。

(代理人)

第 44 条 第 19 条に準ずる。

(参考人)

第 45 条 第 20 条第 4 項に準ずる。

(辞任・補選)

第 46 条 監査委員の辞任は監査委員長及び総務委員会の過半数の同意を必要とし、辞任した場合は総務委員会によって 1 週間以内に補選しなければならない。

2 監査委員会役員の辞任については第 23 条第 2 項に準ずる。

(解任)

第 47 条 第 24 条に準ずる。

(不信任)

第 48 条 第 25 条に準ずる。

第 5 節 専門委員会

(機能)

第 49 条 専門委員会は提示された議題について調査・討議する 機関である。

(設置)

第 50 条 専門委員会は会員の要求により、学生会長の許可をもって随時設置することができる。

(構成)

第 51 条 各専門委員会の構成員及びその選出方法等については総務委員会で定める。

(召集)

第 52 条 各専門委員長がこれを召集し、過半数の委員の出席をもって成立する。

(決議)

第 53 条 出席委員の過半数によって決議する。

(任期)

第 54 条 各専門委員長の責任において各専門委員会で定める。

(代理人)

第 55 条 第 19 条に準ずる。

(参考人)

第 56 条 第 20 条第 4 項に準ずる。

(辞任、補選)

第 57 条 第 23 条に準ずる。

(不信任)

第 58 条 第 24 条に準ずる。

第6節 クラブ会

(機能)

第59条 クラブ会はクラブ加入者によって構成され、サークル振興とその育成を図るとともに、相互の親睦を深めることを目的とし、そのために必要とされるあらゆる活動を行なう機関である。クラブ会会則は別に定める。

第3章 会計

(機能)

第60条 本会の会計は執行委員会会計がこれを総括し、管理する。

(クラブ会会計)

第61条 各クラブの会計の出納は、クラブ会会計に一任する。

(収入・会費)

第62条 本会の会計は会費及びその他の収入をもってこれにあて、会費は年額3,000円とし、各学年初めに納入する。

(会計年度)

第63条 本会の会計年度は毎年4月1日より、翌年3月31日までとする。

(監査)

第64条 本会の決算は監査委員会の監査を経て総会に提出しなければならない。

(報告)

第65条 会計は監査委員会の要請あるときは、監査委員会に出納明細簿を提出しなければならない。

第4章 会則改正

(発議)

第66条 本会会則の改正の発議が会員中より30名以上の連署をもって総務委員会に提出された場合、総務委員会で受理検討する。但し連署は監査委員会の承認を得たものでなければならない。

(設置)

第67条 会則改正の発議が総務委員の過半数で承認された場合、直ちに会則改正委員会を設置、起案しなければならない。

(起案)

第68条 会則改正委員会より提出された会則改正案は総務委員会においてその3分の2以上の賛成を必要とする。

(決議)

第69条 会則改正案が総務委員会を通過した場合、これを総会にかけて会員の3分の2以上の賛成を得なければならない。

附則

本会則は、昭和46年5月20日より施行する。

2021年度 クラブ・サークル加入者数及び補助費申請一覧

	部 / クラブ	学籍番号	部 長	1年	2年	部員数
1	軽音楽サークル	20M036	砂田 健汰	11	2	13
2	茶道部	20F065	放生 紗愛	6	3	9
3	フォトサークル	20F017	大石 真優佳	14	10	24
4	クッキングサークル	20F082	森崎 捺未	1	3	4
5	創作サークル	20M116	松田 歩乃歌	10	3	13
6	バドミントンサークル	20M077	奥野 瑞己	11	2	13
7	テニスサークル	20M121	宮本 和也	1	4	5
8	バレーボールサークル	20C066	畑山 彩音	5	9	14
9	ソフトテニスサークル	21M027	清水 拓海	8	0	8
10	女子軟式野球	20F076	向 玲奈	1	1	2
11	バスケットボールサークル(男女)	20M122	村上 遼太	5	9	14
12	ダンスサークル	20C091	吉川 萌絵	6	12	18
13	フットサルサークル	20C020	工藤 凜	19	12	31
14	アナウンスサークル	20M092	杉森 加奈	9	7	16
15	図書館サークル	20M094	関野 詩織	1	3	4
16	陸上競技サークル	20F055	西村 ますみ	0	3	3
17	服飾デザインサークル	20F043	竹林 由唯	2	6	8
18	園芸	21M029	関藤 果歩	11	0	11
19	卓球(eden)	21M047	水口 ひより	26	0	26
20	eスポーツ	21M043	藤田 夏海	6	0	6
21	子育て支援	21C072	水馬 来楽	6	0	6
22	ポプラプロジェクト	21A003	神田 妙野	5	0	5
計				147	89	253

令和3年度学長と語る会 議事録

■日時：令和4年2月3日（木）15：30～16：45 オンライン（ZOOM 配信）

■教職員：宮田学長、梅本部長、稗苗次長、明柴次長、大丸課長、杉原主査

■学生参加者：西、吉野、川東（2年生） 大平、魚住、三鍋、岩山、金山、古川、小葉松（1年生）

司会進行：明柴

1. 学生会長の挨拶（西）
2. 学生会自己紹介
3. 学生会1年間の活動（パワーポイント）
4. 意見交換会
5. 宮田学長から一言
6. 終わりの挨拶（大平）

【学生会からの意見】

《1年間学生生活を送っての感想》

- ・コロナのためオンライン大学祭になったが、コロナ禍だからこそ、今しかできない有意義な時間を過ごせた。
- ・学生を巻き込んでのイベントが出来なかったが、次年度は画面越しでも楽しめる大学祭を目指したい。
- ・学生会に入っているいろんなイベントができ、様々な人と関わることができて良かった。
- ・クリスマス会で他学科のボランティアの学生と仲良くなれたことを通して、交流する機会を設けることは大切だと思った。
- ・ボランティア活動をコロナ禍でもたくさん参加できたので良かった。来年も積極的に参加したいと思っているし、できれば地域の人と関わるボランティアにもっと参加して交流したい。
- ・学生会だけでは出来ることが限られるので、ボランティアを集めることによって様々なことが出来たので、来年もみんなを巻き込んでいろんなイベントをやりたい。
- ・1階のトイレがきれいになって嬉しかった。（トイレの数が減っても問題なし）
- ・コロナ禍でも保育実習に行けたことがよかったし、現場の保育士の方と直接関わられたことで学ぶことが大きかった。

《設備課題》

- ・E館のWi-FiをつなげるとラインとSNSを見るができない。
- ・A館の電波が悪い。
- ・F306室のパソコンの回線が良くないから改善をお願いしたい。（授業に支障あり）
- ・A330のモニターの真ん中のスクリーンが暗い。
- ・A330の後ろのモニター2個あるが見れない。
- ・A227のパソコンが有線をつなげてもネットが繋がらない。
- ・A227の教卓前のホワイトボード真ん中前のモニターがつかない。
- ・経営情報ロッカーの出席番号の早い人のロッカーの通路が狭く通りにくく困っている。（2人入れない）

《要望など》

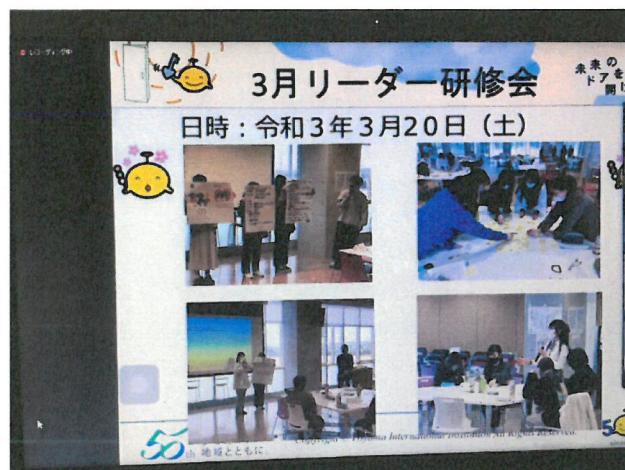
- ・学生会のイベントを盛り上げるためにも、学生ボランティアを募集し、また、短大のホームページからボランティア募集ができることをもっと地域の方にも伝えて、情報交流の機会を増やせたら良い。
- ・卒業生との縦の繋がりを広げれば、今後の活動の幅も広がると思う。
- ・卒業してからも富山短大と繋がれる場所や連絡方法があればいい。
- ・学食のメニューのレパートリーを増やしてほしい。(デザートがない)
- ・高校、大学、短大と共有しているので学食の食数を増やしてほしい。

7. 宮田学長から

2年生の皆さんは、入学式をはじめコロナの影響により大きなイベントがなくなって残念ではありましたが、その中でも初めてのオンライン大学祭、クリスマス会など、これまでにない工夫をし、その中でも沢山の学生が逆に参加してくれたことは、何かをしようと工夫したことを高く評価できます。大変ではありましたが、みんなと協力して楽しく過ごせたのは、逆にコロナだからこそ頑張った事が強く印象に残り、社会に出て役立つ力を身に着けることができた2年間だったのではないかと思います。

教・職・学・地域のみんなで学生生活がよくなるように、お互いに手をつなぎ、同窓会も含めパートナーとして精一杯応援・サポートしていきます。

最後にコロナ感染防止として、友達同時の会食、マスクなしの会食、卒業旅行など遠慮をしていただき、無事に卒業式を迎えられることが出来ればと思っています。



令和3年度 富山地方鉄道 直通バス (呉羽キヤンパス構内乗入れ)時刻表

		始発・行先	出発時間	到着時間
富山駅	①	富山駅前～富大経由～短大	7:55	8:21
	②	富山駅前～石坂経由～短大	8:05	8:30
	③	富山駅前～富大経由～短大	8:20	8:44
	④	富山駅前～富大経由～短大	8:25	8:49
登校	⑤	新湊車庫前～小杉駅前～短大	8:23	8:34
	⑥	新高岡駅～小杉駅前経由～短大	7:52 新高岡駅 8:23 小杉駅	8:34
小杉駅	⑦	小杉駅前～短大	8:35	8:45
	⑧	小杉駅前～短大	8:50	9:00
富山駅	⑨	短大～富大経由～富山駅	15:35	15:57
	⑩	短大～富大経由～富山駅	16:35	17:03
	⑪	短大～富大経由～富山駅	18:20	18:48
小杉駅	⑫	短大～小杉駅 (新高岡駅) 【付属高校線 高岡ルート】	16:30	16:40 小杉駅
	⑬	短大～小杉駅 (新高岡駅) 【付属高校線 高岡ルート】	18:20	18:30 小杉駅

※下校便⑩⑪は高校運行便として 短大～新高岡【高岡ルート】で運行します。ただし高校運行便が休便の場合は短大～小杉間のみの運行となります。
 ※短大行事や試験等で運休となります。直通バスの運行表については、年間運行予定表をご参照ください。
 ※直通バス以外にも、県道44号線沿いに「富山短大駅前」(喫茶店前)、「富山短大宇口」(富山方面のみ)停留所で開催する一般バスも同時に運行しております。
 運行時刻については、富山地方鉄道HPをご参照ください。

		富山地方鉄道 国際大付属高校線
①	大沢野ルート	◆登校便各ルート1便 ◆下校便各ルート3便 通常(15:30、16:30、18:20) 【注意】
②	南富山ルート	・付属高校の行事予定に基づいて運行するため、短大の授業日と重ならない場合があります。定期券を購入する際は十分ご注意ください。定期券以外でも回から乗車することは可能です。
③	東富山ルート	・基本的に定期券は、そのルートのみ使用可能です。
④	八尾ルート	・付属高校の行事等に合わせダイヤ変更をすることがあります。
⑤	杉原ルート	詳しくは運行予定(時刻表)については国際大付属高校HPをご確認ください。 ※月1回「自主学習日」が設けられています。この日は運休となります。
⑥	新高岡ルート	・料金や細かいルートについては、学生支援課にて資料を配布しています。

呉羽いきいきバス

■長岡・寒江ルート

登校便 (呉羽駅～短大)	
出発時間 (呉羽駅)	到着時間 (短大)
7:30	7:46
8:20	8:34
9:30	9:44
10:40	10:54
11:50	12:04

下校便 (短大～呉羽駅)	
出発時間 (短大)	到着時間 (呉羽駅)
13:14	13:35
14:24	14:45
15:34	15:55
16:44	17:05
17:54	18:15
19:04	19:25

老田・古沢・池多ルート

下校便 (願海寺～呉羽駅)	
出発時間 (願海寺)	到着時間 (呉羽駅)
16:04	16:25
17:20	17:35
18:24	18:45

※登校便は所要時間40分(呉羽駅～願海寺)のため記載しない。

★運賃:100円、回数券1回1,000円、定期券3か月6,000円

射水きときとバス

■新湊・呉羽駅線

登校便			
①新湊東口～短大		②呉羽駅前～短大	
出発時間 (新湊東口)	到着時間 (短大)	出発時間 (呉羽駅)	到着時間 (短大)
7:00	7:34	8:10	8:17
7:25	7:59	10:30	10:46

下校便

①短大～新湊東口				②短大～呉羽駅			
出発時間 (短大)	到着時間 (新湊東口)	出発時間 (短大)	到着時間 (呉羽駅)	出発時間 (短大)	到着時間 (呉羽駅)	出発時間 (短大)	到着時間 (呉羽駅)
14:46	—	16:43	16:50	16:17	—	18:08	18:15
17:32	—	—	—	18:47	19:21	—	—

※14時、16時、17時台は、海老江中町停まり

★運賃:200円、1日券300円、定期券1ヶ月4,000円

※コミュニティバスは、呉羽キヤンパス内に乗り入れられません。詳しいルート等はHPをご覧ください。

→「古洞の森」行き

A館トイレのリニューアル

